Made in Hokkaido

ニタイ・トだより

問 487-2332

「アイヌ交付金事業　塘路湖でペカンペを採って食べよう」を開催しました

10月3日に塘路湖で採れるヒシの実、アイヌ語で「ペカンペ」を採取し試食する講座を行いました。時折雲がかかる青空のもと、参加者12人が2艇のカヌーに乗り込み、塘路湖へ漕ぎ出しました。ヒシの実の関わることとしては、塘路で行われていたアイヌの人々による祭事「ペカンペ祭り」があります。ヒシの実を人々にもたらしてくれる沼の神様へ、ヒシの実を採っても良いですか？とお願いする祭事で、ヒシの実が実り始める8月下旬から9月上旬に行われていました。全道のアイヌの方々にお会いすると、塘路湖のペカンペは一つのブランドのように多くのアイヌの人に知られていて、ペカンペといえば塘路という声をよく聞きます。10月はペカンペを採る時期としてはかなり遅いのですが、採取の際には大きな敵となる強い風もなく、レイクサイドとうろさんにご協力いただき、無事に採取できました。

その後、博物館に戻ってペカンペを茹でて実食。またレイクサイドとうろさんのご厚意で、ペカンペを使ったおはぎとお汁粉もいただき、塘路で受け継がれたアイヌの食文化に思いを馳せながら、塘路湖の旬の味を堪能しました。

この事業は来年度も実施する予定ですので、興味のある方は来年の秋までお待ちください。

▲リフレクションが美しい湖面

▲ペカンペの皮を剥き、白い身を実食しました

▲ヒシの葉を裏返すと実が見えます